



泉だより

IZUMI・DAYORI



2025.3.1 VOL.49

発行元



社会福祉法人 泉学園
Social welfare corporation IZUMIGAKUEN

〒702-8026 岡山市南区浦安本町190番地
TEL (086) 264-2882

発行人 岡崎 イツヨ



一人ひとり、
みんな、主人公

支援をつなぐ

桑野フレンドリーハウス
管理者 岡崎 美作

令和七年一月、阪神・淡路大震災発生から丸三十年を迎えました。当時入職二年目のこと、大きい揺れを感じ飛び起きた明け方、出勤後利用者と共にテレビで映し出された想像以上の状況に言葉を失ったことを今でも覚えています。災害を身近に感じた、また、備えの必要性を強く感じる出来事でした。現在、震災の経験や教訓を未来へ継承する取り組みが進んでいます。

同じく私たちを取り巻く福祉の環境も大きな変化がありました。少子高齢化や核家族化、高齢者世帯の増加、価値観の多様化、犯罪や事件の深刻化など生活不安の増大を背景に、地域のつながりや他者への関心の希薄化が課題になっています。当中、新型コロナウイルス感染症の流行が最も大きな変化でした。当たり前に過ごしていた日常が一変し、事業所運営の大幅な変更、利用者支援全てにおいての自粛や制限を余儀なくされました。感染を最小限に食い止めた反面、利用者の適応力低下や寡言、足元が不安定といった、心身の機能低下などが一気に進行し、現在もまだ課題は続いています。

私たち支援者もコロナ以前の支援の在り方に戻しつつも、現状に合ったより良い支援の形を模索中です。改めて一人ひとりの嗜好や得意なことを見つめ直し、まずは、支援者同士も休憩時間や学習の場を通してコミュニケーションを取りながら、それぞれを知る機会を増やしていきました。利用者の方の身体状況や好きな事柄の変化などを共有し、楽しく安全な行事や活動にするにはどのような支援が良いか意見交換の場を設け、ようやく今に至っています。

利用者一人ひとりが「個性」を活かし、望んでおられる方向に近づけるよう、また、利用者を取り巻く環境や支援者も含め「個性」を活かした支援に向かうよう話し合いを大切にしたい事業所づくりへの思いを、これからの世代に繋いでいけるよう、自己研鑽とコミュニケーションを持って進めていきます。

○障がい者デイセンターさくら

20周年もちつき大会

2025（令和7）年1月25日（土）、デイセンターさくらの20周年の記念も兼ねてもちつき大会を実施しました。コロナ禍以来、5年ぶりの開催となりましたが、ご家族をはじめ、たくさんの地域（町内会、子供会、公民館関係）の方々、ボランティアの方々にもお力添えをいただき、つつがなく終えることができました。

き、大盛況で終わる事ができ、スタッフ一同ほっとしております。ご参加いただいたすべての皆様に、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。
また、来年もちつき大会を開催したいと思っておりますのでご参加ください。

（中山）

冒頭のオープニングセレモニーでは、各団体代表の方々の挨拶や諸注意に留まらず、特別ゲスト「クールポコ」ならぬ「クール・へっぽこ」も登場し、大いに会場を盛り上げてくれました。それぞれの日の周りでも力強く餅をつくたび、「よいしょ！よいしょ！よいしょ！」の掛け声も飛び交う、楽しく美味しいひと時になりました。自分でついた餅を自分で丸めて食べられており、「おいしい、おいしい」と皆さん笑顔で召し上がられていました。

クローキングセラレモニー

では、「参加の方々から「楽しかった！」「美味しかった！」「来年も来たい！！」等のお声も寄せていただ



第52回ゆうあい文化祭へ参加

●ワークショップちどり

ちどりで、毎年4月になると新しい手話歌の練習を始めます。曲は皆さんからリクエストをいただき、その中から職員が手話で表現できそうなものを相談して決めていきます。今年は「ZARDの「負けないで」を選びました。この曲はとても前向きでリズム感が良いので、皆さん楽しく練習に取り組むことができました。手話には、同じ言葉でも二通りの表現があるなど覚えるのが大変でしたが、ボランティアの方が熱心に教えてくださり、

皆さんの練習の成果もあり、少しずつ形になっていきました。そんな時、11月に「ゆうあい文化祭」での発表のお話をいただき、皆さんとともに参加することにしました。そして迎えた本番の日。ステージに立つと、皆さん少し緊張していましたが、音楽がかかりだすと笑顔で伸び伸びと自己表現され、これまで1番の発表ができました！その姿に職員一同、感動で胸がいっぱいになりました。ちどりの皆さんの頑張り拍手を送りたいです。

（小西・山口）

●泉の園

泉の園の通所部ではここ数年、コロナ禍で色々なことに制限があり、楽しい活動も我慢することが多かった時に何か楽しいことをしたいとの思いで楽器の音を楽しんでいました。段々と自分たちで演奏できたらの思いが湧き上がり、活動の中に「音楽の時間」を取り入れることにしました。まだ、始めて2年です。職員のウクレレやフルートも初心者で、メンバーと一緒に練習に励みました。ご家族や仲間の前だけでしか演奏の



第52回ゆうあい文化祭
～ちどりに届け！私たちの絆と笑顔！2024～





経験がなく、たくさんのお客様の前での演奏は初めての機会でした。しかし、『ゆうあい文化祭』へ出られることが決まってから今まで以上に練習をしていきました。本番は緊張で音が外れたりすることもありましたが、演奏し終えたメンバーの表情は達成感に満ち溢れとても良い表情でした。また、発表当日は、一緒に練習を続けてきた仲間の一人が泉の園のメンバーとして過ごす最後の日でもありました。お別れする仲間ともステキな思い出が作れました。

ゆうあい文化祭での発表は、これからも「音楽の時間」を続けていく自信に繋がる貴重な体験でした。

(中村)



なずな赤磐では、毎年10月になるとハロウィンパーティーを開催します。今年は、事業所館内ではゲームやハロウィンのスイーツ試食をしました。また個々で仮装して、地域のお宅や商店などにお邪魔し、お菓子配りや買い物をして地域の方との交流も深めました。ハロウィンが近づくと、なずな館内にはお化けやカボチャ、ガイコツのオブジェなどを飾り、季節の訪れを感じて頂いています。ハロウィンに欠かせない仮装は、毎年グループに分かれてテーマを決め、テーマが決まると活動時間にご利用の方々と協力し、色塗りや紙を丸める作業など、衣装や小道具の制作をしていきます。毎年ワクワクする仮装に、皆さんの表情も気合十分です。ハロウィン当日は、準備してきた衣装を着て、「私を見て!」と眩しいほどの笑顔をされる方や、いつもと違う雰囲気、緊張される方もおられますが、皆さんとても楽しんで下さっています。毎年恒例になっている仮装をしての外出では、「素敵な仮装

○デイセンターなずな赤磐 レッツハロウィンパーティー

います。家族の方へのお土産を買う方もおられて心が温かくなります。毎年、行事を通して様々な出会いや新しい発見もあります。待ち遠しい恒例行事と思つて頂けるよう、年々進化させ、新しい取り組みをしていきたいと思つています。今後ご利用者と職員一同で色々なアイデアを出し合い、もっと楽しくてワクワクするハロウィン



ですよ。」とお褒めの言葉や、「今年も来てくれましたね。」「来年も来てくださいね。」など、地域の方やお店の方からの嬉しいお声掛けを沢山頂きました。地域のスーパーやコンビニでの買い物では、皆さんの好きなものを購入して



ンパーティーにしたいと思つています。来年の仮装も乞うご期待!

(山野邊)



12月24日(火)にクリスマス会を開催しました。

毎年恒例のイオン岡山の方から頂くお菓子やタオルのプレゼントをイオンサンタさんが登場し、一人ひとりに渡して頂く予定でしたが、今年はインフルエンザが流行していることから急遽なずな職員が代わりにお渡ししました。

午後からのイルミネーションでは、クリスマスの曲が流れている中、興味を示されながら鑑賞したり、写真撮影もしたり、とても楽しそうに過ごされました。

ご協力して下さいましたイオン岡山の皆様方、本当にありがとうございます。

(渋谷)

○デイセンターなずな クリスマス

令和5年度 共同募金配分の御礼

備品整備

この度は皆様方からの募金により製パンの備品整備をさせていただきました。20数年に渡り地域の方々にご利用いただいている店舗に並べる製パン作りの要であるミキサーが老朽化し部品の修理も効かなくなっておりまして。



近年の物価高騰の影響もあり今回、新規購入の補助をいただき大変感謝しております。最新のミキサーで捏ね上げる焼き立ての食パンも大好評です。これからもスタッフ一同地域の皆様喜んでいただける商品づくりに努力してまいります。この度は本当にありがとうございました。(藤原)

助成金の御礼 (泉の園)

一日社会体験旅行

今年度も公益信託梶谷福祉基金の助成金を頂き、11月28日と29日にダイヤモンド瀬戸内マリンホテルに一日社会体験旅行に行きました。年に一度のバスでの旅行を利用者の皆さんはとて楽しみまされています。当日はホテルで懐石ご膳を食べ、お土産を買って帰りました。それぞれ思い出に残る楽しいひと時を過ごされました。



イオン様からのクリスマスプレゼント

障がい者デイセンターさくら

12月23日「イオンの国のサンタさん」(マルナカ福富店様のサンタさんとトナカイさん)が、抱えきれないほどのプレゼントを持って来て下さいました。クリスマスケーキとお菓子の詰め合わせがご利用者の皆さんに手渡されると、声が上がります。笑顔が弾けました。一緒にクイズをしたり、クリスマスソングを歌ったり、本当にかけがえない楽しい時間を過ごすことができました。代表としてご利用者が感謝の思いをお伝えしました。そして最後にマルナカのテーマソング「ナカマカナ」と拍手でお送りすることができました。

桑野フレンドリーハウス

12月20日に株式会社フジ様よりクリスマスケーキとプレゼントを頂きました。ご利用者の皆さんはケーキをおいしそうに食べられ、プレゼントも入浴剤や美味しい飲み物、カイロなどたくさんあり、とても喜ばれていました。

泉の園

12月25日にイオンスタイル岡山青江店様よりクリスマスケーキのプレゼントを頂きました。見事なイチゴの乗ったケーキをご利用者の皆さんはとて喜ばれ、美味しそうに食べられていました。お礼として通所部のメンバーによるクリスマス演奏会に参加して頂き、一緒に楽しいひと時を過ごすことができました。



新入職員紹介

泉学園共同生活援助事業所

生活支援員
よしだ あやか
(令和6年8月1日)
吉田 絢華
(令和6年8月1日)
分らないことが沢山ありますが一杯頑張っていきます。よろしくお祈りします。

生活支援員
あらしま あやこ
(令和6年9月1日)
荒嶋 綾子
(令和6年9月1日)
初めての事ばかりで迷惑をかけると思いますが、一生懸命頑張ります。よろしくお祈りします。

事務員
つばい ゆうか
(令和6年10月1日)
坪井 優花
(令和6年10月1日)
初めての事務職で分からない事ばかりですが、正確に処理することを心がけて頑張りたいと思います。

管理栄養士
かたはら のぞみ
(令和6年10月21日)
片田 希海
(令和6年10月21日)
食事で皆さんに幸せをお届けできるように頑張ります。よろしくお祈りします。

相談支援専門員
まごも あゆみ
(令和6年8月1日)
松本 彰子
(令和6年8月1日)
皆様のお役に立てるよう日々精進したいと思っております。よろしくお祈りします。

生活支援員
こまつ ひろゆき
(令和6年8月1日)
小松原 由貴
(令和6年8月1日)
ご利用者一人ひとりと笑顔で関わり支援していきます。よろしくお祈りします。

生活支援員
なんば みき
(令和6年8月20日)
難波 美紀
(令和6年8月20日)
利用者様一人ひとりが主役になれるような場所を作れるようにがんばってまいります。

生活支援員
よこあけい こ
(令和6年10月8日)
横尾 恵子
(令和6年10月8日)
ご利用者の力になれるよう頑張ります。よろしくお祈りします。

生活支援員
やました けんいち
(令和6年10月16日)
山下 健一
(令和6年10月16日)
10月より勤務しています。「けんG」で検索、人影アイコン探して下さい。趣味YouTubeです。

看護師
たにくち みつえ
(令和6年12月16日)
谷口 美津恵
(令和6年12月16日)
あばの挑戦です。初めての職場で初めての経験をするのを選んでやってきました。頑張っていきますのでよろしくお祈りします。

調理員
まるもこ ひなこ
(令和6年9月3日)
丸本 文子
(令和6年9月3日)
笑顔になれる料理を作ります。

保育士
つめおら あかね
(令和6年10月1日)
梅村 茜
(令和6年10月1日)
これまでの経験を活かしながら新しい事にも挑戦し、皆さんと一緒に楽しく活動していきたいと思っております。

生活支援員
ごまの ひろゆき
(令和6年8月1日)
ごまの 由貴
(令和6年8月1日)
ご利用者一人ひとりと笑顔で関わり支援していきます。よろしくお祈りします。